

水俣・芦北地域戦略プラットフォーム 第20回課題検討会のお知らせ

(第5回地域戦略検討会)



地域の情報化と 住民による 情報発信の将来



ブログ「食と農の底力!」より画像転載

今回の水俣・芦北地域戦略プラットフォーム課題検討会は、熊本シニアネット水俣支部長の坂本龍虹さんをお招きし、熊本学園大学の守弘仁志教授と共に話題提供を受けながら、水俣市における地域情報化と住民の情報発信の将来の方向性について議論します。話題提供の内容は、CATV、コミュニティFM、インターネット（ソーシャル・ネットワーキング・サービスいわゆるSNS、ネットテレビ）などをあげながら、それぞれの利点と欠点（特に水俣市における実施可能性など）をあげての検討、特に15年以上前から住民による映像情報発信を積極的に実施し、月1回30分のネットテレビ放送番組を制作しながら2010年にはCATV局開局へと進展した球磨郡山江村の例を、その経緯や住民参加の特徴をあげての報告です。みなさまのご参加をお待ちしております。

会の終了後に懇親会を予定しております。こちらにもぜひご参加下さい。

話題提供 **坂本龍虹氏** (熊本シニアネット 水俣支部長)

守弘仁志氏 (熊本学園大学 社会福祉学部教授)

日時 2010年**10月18日**(月) **19:00~21:00**

場所 **熊本学園大学 水俣学現地研究センター**

水俣市浜町2-7-13(水俣市公民館裏、婦人会館向かい)

TEL・FAX 0966-63-5030

「水俣・芦北地域戦略プラットフォーム」世話人会・事務局
熊本学園大学水俣学研究センター 藤本延啓

「水俣・芦北地域戦略プラットフォーム」とは

「負の遺産」としての水俣病事件をベースに、人間としての生き方、日々の暮らし、地域社会(教育、環境、福祉、経済、政治など)のあり様を問い直そうとする市民、NPO、研究者、民間事業者、行政職員など多様な関係者の“出会いの場、学習の場、討議の場”であり、また、“新たな価値(生活文化)を創造する「場」として位置づけられた舞台(プラットフォーム)です。